

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あかしろきいろ発達支援るーむ(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年11月18日	～	2025年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	2025年11月18日	～	2025年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性・状況に応じた支援	「自立できるこどもを育成する」という理念の下、自己肯定感を育みながら、適切な社会性を身につけられるように支援を行っています。日々の様子やWISC等の発達検査の結果を基に、専門的な知見から傾向を把握しつつ、その時々状況に合わせた支援を行っています。今年度からは中学生クラス(月に1回)を新設し、同年代が集まりコミュニケーションを取れる機会を設けました。また、こどもの状況を鑑みて、小集団、個別など最適な支援を組み合わせ提供できるよう、個別支援計画を立てています。	活動プログラムのより一層の拡充を図り、様々な経験を積めるようにしていきます。 また、それぞれの課題に向き合いやすい環境を整備することを検討しながら、クラス編成を行っています。
2	他機関と連携をした総合的な支援	都型放課後等デイサービス事業所として、保護者からの希望に応じて、利用者の通う学校を初めとした関係機関との連携を行っています。事業所以外での利用者の様子を知ること、より実態に即した支援を提供することが出来ています。また、支援の方針を共有することで、利用者にとって一貫性のある対応を取ることが可能になっています。上記のように、子どもを真ん中に据えながら、取り巻く環境を整えていくことを大切にしています。	引き続き、子育て講座や支援者向けの講座を企画しています。より多くの方に聞いていただけるように、連携の輪、支援の輪を広げてくためにも、外に向けた働きかけを行っています。
3	保護者へのサポート体制	保護者からご要望があった際や、事業所が必要と判断した際には適宜面談を設定して、助言と支援を行っています。電話やメールでの相談に対しても、可能な限り即時対応するように努めており、必要に応じて他機関と連携しながら対応しています。	子育てに関する講演・研修会を定期的開催しています。今年度中には、中学生の保護者を対象に進路相談会を実施する予定です。こどもの年齢等で対象者を分けながら、課題やニーズに応じた勉強会を開催していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小さな事業所のため、人の動きが限定的	運営施設が一施設のためのため、異動がありません。考え方や見え方が固定化されやすい環境であることは、常に留意していく必要性を感じています。	外部の研修を利用したり、関係機関との連携を積極的に図ったりすることで、外に出ていく意識を持ち、新しい知識を得る動きをしています。今後も支援の幅を広げながら、様々な考えに触れることによって、画一的な考えに陥らないように努めています。
2			
3			